

車載・ハンディ「耐環境型」 ターミナルに最適システム提案

ブレインが物流・低温・港湾用途に展開開始



椎名淳副社長▶

最適システム構築から 運用・メンテまで

㈱ブレインは仙台に本社を置き、これまで大手流通企業向けのバーコード端末システム等の構築・納入を軸に実績を上げ、成長してきたベンチャーIT企業。09年には東京にも専任スタッフを配置し、事業展開を加速中している。バーコードリーダー・プリンタ・ハンディ端末、フォークリフト車載端末、無線LANシステム等ハードウェア・ソフトウェアの選定・販売・導入支援から、取付け・配線工事、保守メンテナンス・運用・技術

支援サービスまでをトータルに担う、ITインテグレータと言っていい。リセラーとして国内はもちろん世界中から最適な技術・製品を発掘・選定し、顧客ニーズに合わせた最適ソリューションを構築・提供。同時に現場運用を含めた実践提案、自社テクニカルスタッフでソフト・ハードのメンテナンスまで対応できるのが他にない強みだ。「これまで弊社は流通業向け業務を中心に、店舗とバックヤード、物流現場などに製品とシステムを納入してきましたが…」と本社取締役副社長の椎名淳氏は話す。「05年ころから、大手を含め量

販店・専門店是全国的にオーバーストア状況になり、新規出店需要が落ち込んでしまった。そこで弊社の強みを発揮できる戦略を探り、独自の機能が求められ市場もメーカーも限られる、冷凍倉庫・物流・港湾向けなど耐環境型製品分野に展開することにしたのです」その結果、同社の取扱製品構成は図表-1のように、左のライトユースから右手のヘビーデューティ用まで大きく拡大。これだけ1社でカバーできる企業はまずなく、従来の流通ノウハウの上で今、物流分野の事業展開を開始したのだ。

サイオンの プライオリティ代理店に

そこでブレインは国内各社とユニテック、モトローラ等に続き、カナダのサイオン・テクノロジクス社と09年に正規販売代理店契約を締結、販売を開始した。サイオンは現場作業に特化した堅牢タイプのハンディターミナルと車載端末、無線システム等をグローバルに提供しているメーカーだ。一時国内法人を持ち実績を重ねていたが、撤退した好機をとらえた。翌10年にはPSION ASC

図表-1 ブレインの提供する幅広いハードウェア構成



図表-2 WORKABOUT PRO2のエアカーゴ向け納入実績



写真-1 A-DLoGの車載端末ラインナップ



写真-2,3 A-DLoG 端末のマウント状況とインターメックのIV-7

(Authorized Service Center) 契約を締結、プライオリティを持つ最強パートナーとして国内唯一のサービスセンターとなり、修理にも対応開始しているのはポイントだ。国内の同分野ではかつて、ある大手日本メーカーが大きなシェアを持っていたが撤退し、残るメーカーは2社、あとはサイオンのほかモトローラ、インターメック等海外の数社に限られる。

ブレインがまとめたサイオンの端末の代表的な納入事例が、某大手エアカーゴ会社・A社向けの輸入貨物総合サプライチェーンシステムだ(図表-2)。国内国際線空港ターミナル5か所に、WORKABOUT PRO2ロングレンジ/スタンダードレンジを計200台、ソフトウェアとサービスを合わせて構築・納入。これを活用することで、同社グループの国内ハブ空港化構想は、大きな成果を挙げているという。

ドイツ・Advantech-DLoG社の 車載端末を販売開始

さらにブレインは昨年11月、産業用コンピュータ専門メーカーとして25年の実績をもつAdvantech-DLoG社(ドイツ・ミュンヘン、以下A-DLoG社)と代理店契約を締結した。

実は業界最高水準の耐環境性を備えるサイオンの車載端末等がA-DLoGのOEM製品であり、A-DLoGは港湾、粉塵や鉄粉が発生する製造現場、食品加工、冷凍倉庫のフォークリフト作業など、厳しい作業現場で抜群の操作性を発揮するさらに多様なラインナップを持っていることが分かり、直接取引にこぎ着けたもの。

- 中でもブレインが注力するのが、フォークリフト車載端末シリーズである(写真-1)。その特長は;
- ・極薄筐体デザインでフォークリフトの狭いスペースでもフレキシブルにマウント設置可能。
- ・120種類以上の取付具を用意し(写真-2)、耐震動性を確保。電源安定化装置も内蔵しているので、別付けなしに安定稼働が可能という。
- ・標準動作温度は-30℃~+50℃。冷凍環境や屋外環境下でも安全安心のオペレーションができる。
- ・IP65以上の防塵防水構造、耐震動性、機械的な頑丈製と耐摩耗性を備える。
- ・コントラストに優れたLEDディスプレイ、全く隙間のないオリジナルタッチパネル構造。
- ・サイオン同様、国内修理できる体制とする予定で今後のフォークリフト端末の有力な選択肢となる。

「かつてこれらターミナルはオリジナル言語で開発されていたのが、この2~3年でWindows系がグローバルスタンダードになり、マイクロソフトと契約すれば日本語対応もすぐできるので、国の垣根がほとんどなくなりました」と椎名氏。

「日本企業が海外現場で使用する際も、弊社のグローバルモデルなら現地ディーラーをすぐご紹介できるので、安心です」と東京オフィスの関マネージャーも話す。その他にもブレインは、車載・ハンディターミナルの無線LANシステム構築、運用支援ができるのも特長。見えない電波は倉庫の段積み高さ、レイアウト変更等で環境が変わり、安定稼働はなかなか難しい。同時にRFIDシステムもカバー、インターメックのフォークリフト専用リーダーライタ(写真-3)を活用し現在、昭和情報機器と一緒に具体的な案件にも取り組んでいるという。物流現場システム構築の、新たな可能性が拓かれそうだ。

▶問い合わせ先

㈱ブレイン IT・SI事業部 本社
〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木2-2-7
TEL:022-344-9311
東京オフィス システム機器営業部
〒107-0061 東京都港区北青山2-7-24
TEL:03-5785-2901
http://www.msbrain.net/si_it/